



2025 年 2 月 1 日発行

発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会

■水戸谷 彰さん(西木町西荒井) 撮影
「春を待つ友情の滝」(水沢温泉郷)

新春のごあいさつ・
第6回臨時会
第7回定例会
一般会計補正予算
一般質問

P2
P3
P4
P5~11

総務文教常任委員会 P12
市民福祉常任委員会 P13
産業建設常任委員会 P14
議員活動紹介 P15
地方自治功労者表彰受賞・
おでかけ市議会・ P16
編集後記

新春の ごあいさつ



仙北市議会議長
黒沢 龍己

新年あけましておめでとうござい
ます。

市民の皆様におかれましては、健
やかに新春をお迎えのことと、心よりお
慶び申し上げます。

日頃から、市政運営および議会運営
には、多大なるご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

昨年は、7月には県南部を中心に記
録的な大雨に見舞われ、また夏から秋
にかけては猛暑に苦しめられた年でし
た。観光面では、インバウンドの旅行
者の復活と併せ、国内の観光客や人々
の移動、交流が活発となり賑やかさが
戻ってきました。今年は、皆様にとり
まして、素晴らしい年になることを
願っております。

さて、一昔前までの議員に対するイ
メージは、執行部に住民の声を届ける
力が重視され、道路や橋の整備など、
地域における生活基盤を向上させるこ
とが評価されてきました。しかし、昨
今ではSNSなどのコミュニケーション

ンサービスの普及により、伝えたい情
報は議員を通さなくても直ぐ届くよう
になりました。

また、「議会は何をしているのかわ
からない」という声をよく耳にします。
議員もSNSなどを活用し、議会の内
容や議員の活動を積極的に発信するな
ど、市民がアクセスしたくなる環境を
整備し「議会の見える化」を図り、市
民に関心を持っていただく努力が必要
と考えます。

これからの議会は、執行部への批判・
監視だけでは不十分です。

市民の皆様の多種多様な多くの意見
を市政に反映させることができるよう
に、議員一人ひとりが資質の向上を図
るとともに、市民に寄り添い、より身
近な、市民参加型の議会を目指し、皆
様の負託に応えられるよう、その責任
を果たさなければなりません。

市民の皆様からも、自らの代表と忌
憚らない意見交換を行うなど、積極的
に議員と関わっていただき、皆様のご
意見をお聞かせいただきたいと思います
です。

結びに、本年も変わらぬご指導、ご
協力のほど、よろしくお願い申し上げ
ますとともに、市民の皆様のご健康と
ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年
の挨拶といたします。

令和7年1月吉日

— 第6回臨時会 (11/5開催) — 一般会計補正予算(第6号・第7号)を承認・可決

旧角館総合病院の解体費がアスベスト除去により2億2,702万円増額
補正額2億5,184万3千円 累計218億8,348万円9千円

第6回臨時会が11月5日に開催されました。専決処分した衆議院議員総選挙に要する費用を承認しました。
また、旧角館総合病院の解体費がアスベスト除去により増額されることが審議され、全会一致で可決されま
した。

第6回臨時会で承認・可決された主な議案

- ◆令和6年度一般会計補正予算(第6号)専決処分した衆議院議員総選挙費用を承認
- ◆令和6年度一般会計補正予算(第7号)全会一致で可決

令和6年度一般会計補正予算(第6号・第7号)の主な事業

衆議院議員選挙費	2,481 万円	10/27 投開票の衆議院議員選挙費用
庁舎整備事業費	2 億 2,702 万円	旧角館総合病院の解体費の増額

【庁舎整備事業費の賛成討論】

角館上野庁舎の整備については、旧角館総合病院の病院棟の解体、田沢湖第2庁舎等の解体、旧管理棟の
改修を含めた全体の工事費が19億6千万円の計画である。今回の補正予算は、病院棟の解体にアスベスト
除去費の増額に対応するものであるが、全体の工事費は上回らず、19億6千万円で収まるということを確認
したので賛成する。

—第7回(11月)定例会—

旧角館総合病院の病院棟解体工事請負契約の締結を可決!

令和6年第7回定例会が11月28日から12月19日まで22日間の会期で開催され、令和6年度一般会計補正予算などの予算関係14件、条例関係7件、その他3件、議員提出議案1件の計24件が審議され、すべての議案が可決されました。長年の懸案でありました、旧角館総合病院の病院棟の解体工事請負契約が7億9,475万円で締結され、今年の7月末までに解体されることになります。

■第7回 定例会で可決された主な議案

議案第129号 財産の取得について【全会一致で可決】

凍結防止剤散布車(3t級 4×4)(2台)の購入契約を締結

車輛概要 乗車定員 2人乗り
購入台数 2台
購入価格 5,060万円(1台2,530万円)(税込価格)
購入業者 (株)川村自動車工業(田沢湖小松)
納入期限 令和7年10月31日
入札方法 指名競争入札
 ※凍結防止剤散布車の老朽化による取替え



◆議案第128号 旧角館総合病院解体工事請負契約の締結について【全会一致で可決】

工事概要 旧市立角館総合病院解体工事
 建築物解体 11,020.12㎡ 浄化槽解体・アスベスト除去・備品他処分・外構撤去・
 電気設備解体・機械設備解体 各1式
契約業者 小松・瀧神・万六特定建設工事共同企業体(代表者 (株)小松建設)
契約額 7億9,475万円(税込価格)※入札率99.96%
工期 令和6年12月から令和7年7月31日まで
入札方式 条件付一般競争入札(秋田県電子入札システム)

議員提出議案第6号「意見書」が可決される

最終日に市民福祉常任委員会から提出された議員提出議案第6号「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書が可決されました。

秋田県では県の半額助成があり、25市町村すべてで、18歳までの医療費を無料としているが、国の制度にするべきとの意見書を提出する。

議案第117号 旧石黒(恵)家の休館日の追加

- ◆令和7年4月1日から月曜日と水曜日が休館日
- ◆休館日が祝祭日に当たる場合は翌日が休館日

議案第116号 桜並木駐車場の料金値上げ(大型のみ)

◆令和7年4月1日から大型自動車のみ値上げ

- 大型自動車** 2,090円 → 3,140円(36人以上)
- 中型自動車** 1,040円(料金据置き 11人~35人)
- 普通自動車** 520円(料金据置き 10人以下)

議案第115号

閉校後の白岩小学校を白岩コミュニティセンターとする

令和7年4月に角館小学校と統合する白岩小学校の校舎を白岩コミュニティセンターとして活用する。
 2階は仙北市が誘致を進めるインターナショナルスクールの仮校舎としての活用を検討している。

議決結果/議員賛否

令和6年第7回 仙北市議会定例会(招集日:令和6年11月28日 最終日:12月19日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決月日	議決結果	蒼生会					新成 せんぼく			公明党	共産党	無会派				
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁	中村和彦	西宮三春	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二	荒木田俊一	田口寿宣	澤田雅亮
議案第116号	仙北市駐車場条例の一部を改正する条例制定について	12/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第117号	仙北市旧石黒（恵）家条例の一部を改正する条例制定について	12/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載していません。

一般会計補正額23億5,220万6千円を可決

累計242億3,569万5千円に

ふるさと納税寄附金見込みを 12 億円増額し 30 億円に！！

令和6年度一般会計補正予算(第8号・第9号・10号)の主な事業

児童手当給付費	2,593万円	児童手当給付制度の改正により対象者拡充等のための不足分を増額
生活保護費	3,271万円	生活保護者の医療費増加のため不足分を増額
夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金	118万円	補助対象者1人増による不足分の増額
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金	107万円	7月の大雨被害を受けた事業者の事業継続の補助金
リトリート推進事業費	96万円	仙北市リトリート推進モニターツアー事業に係る補助金の増額
一般教育振興総務費	1,342万円	令和7年度の中学校教員用の教科書購入費用（デジタル教科書含む）
市民会館舞台運営費	101万円	自主開催の回数増による音響・照明等の運営委託費の増額
農業用施設災害復旧事業費	215万円	昨年9月の大雨被害を受けた事業者の事業継続への補助金
ふるさと仙北応援基金積立金	12億円	ふるさと納税寄附金の増額見込みによる基金積立金増額（計30億円）
ふるさと納税ふるさと便事業費	6億3,102万円	ふるさと納税寄附金の12億円増額分の返礼品の経費
物価高騰対応重点支援給付金支給事業費	1億3,378万円	住民税非課税世帯に灯油購入費などを支給

補正予算関連の一般質問・予算常任委員会での主な質疑

◆リトリート推進事業費について

質問 国内外から文化・音楽などの芸術家を仙北市に招聘し、滞在中の活動を支援する事業の当初予算に104万円を計上していたが、さらに96万円増額補正する内容について伺う。

答弁 地域おこし協力隊が企画した事業であり、今回の補正は自らがガバメントクラウドファンディングで目標を上回る寄付を集めて、芸術家の受入れ体制の充実を図るものである。

質問 これまでどのような方が利用し、どのような場所に滞在しているのか。

答弁 仙北市外のミュージシャン、画家、映像アーティストなどで、主に田沢湖下高野のライブハウスで創作活動を行い農家民宿に宿泊し、作品を披露するイベントなども行っている。

※リトリートとは…日常から離れた環境で心身を癒す旅や体験

◆物価高騰対応重点支援給付金について

質問 国の補正予算での住民税非課税世帯への給付金とのことだが詳細について伺う。

答弁 住民税非課税世帯が給付の対象である。1世帯に3万円を給付する。18歳以下のこどもがいる世帯には1人当たり2万円を給付する。また、灯油購入費として6千円を給付する。これまでの対象者は申請不要だが、新たに対象の世帯は申請が必要である。2月上旬までに支給予定である。

◆来年度の中学校教員用のデジタル教科書購入について

質問 中学校教員用のデジタル教科書購入の財源と購入先について伺う。

答弁 財源は、ふるさと仙北応援基金からの繰入金である。購入先については、教科書価格が官報に告示後に決定する予定であるが、仙北市は教科書取扱店が（有）田口本店1社のみである。

宿泊誘客による通過型観光地の脱却を

蒼生会 武藤 義彦 議員



市長

新たな可能性を探りながら、 滞在型観光の実現に取り組む

職場環境と働き方について

質問 市役所の早期退職が増えているというが、退職理由としての職場環境等の内部検証はしているか。

答弁 早期退職者があった職場については、総務課職員が所属長に状況確認をしている。昨年の退職者からは、市役所に対しての意見等をアンケート形式で実施し、今後の市政運営に活用させていただいている。

質問 庁舎内での研修等を含め、部署内での働きやすい環境づくりに向けた取り組みは実施しているか。

答弁 長時間勤務抑制の取り組みとして、毎週月曜日を定時退庁日に設定しており、休暇は夏季休暇をリフレッシュ休暇とし、取得期間を年度内に変更した。職員には成長できる職場環境が必要と考えており、政策支援アドバイザーの研修等を実施し、成長を促す機会を設け職員育成を進めている。

市内宿泊の誘客について

質問 市内への宿泊誘客に向けた事業実績と今後の取り組むべき課題は。

答弁 コロナが5類移行後は、首都圏での観光PRやSNSを活用し、宿泊を促すような事業支援を積極的

に行っている。取り組む課題としては、観光地としての高付加価値化を進め、自然や景観、町並みや伝統文化、温泉等のコンテンツを活用し、観光消費額の増加や観光客満足度の向上に努めたい。

また、ホテル誘致については、県内の複数の自治体でも建設の兆しがあることから、私自身も誘致に向けたトップセールスを行っている。新たな可能性を探りながら、一時休止となっている案件も含め、滞在型観光の実現に向け継続的に取り組んでいく。

質問 JR東日本で実施する「冬の大型キャンペーン」への係わり方は。

答弁 大宮駅での秋田産直市では、仙北市を積極的にPRし、体験型コンテンツとしては、冬の仙北市を満喫できるよう、冬季観光誘客を推進していきたい。

耕作放棄地の対応について

質問 耕作放棄地については、税制改正による固定資産税の増額や、罰金の措置もあるが過去に対象者はいたのか。また、複数回の指導にも応じない所有者への対応はどうしているか。

答弁 仙北市において、措置命令を出したことはない。所有者が遠方の



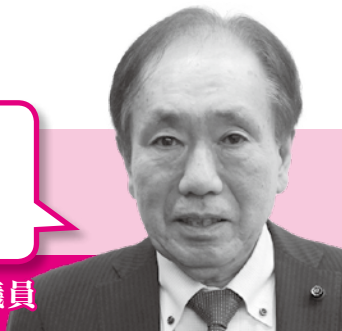
■観光客で賑わう花見シーズンの武家屋敷通り

居住者であったり、農地の利用調整や改善の意向があっても条件が整わない場合もあることから、所有者等に対する措置命令の判断は非常に難しいと考える。

また、複数回の指導に応じない場合は、事務局からの話し合いに関する再通知や、農業委員等による所有者宅への再訪問活動を粘り強く行っている。

火除けの整備、復元はどのような状況か

新成せんぼく 中村 和彦 議員



市長

可能な範囲で復元整備を進めるが、まだ時間がかかる

環境整備等について

質問 旧中町庁舎の外観が無残な状態となっている。売却の方針と伺っていたが、全く進展がない。今後どのようにするのか伺う。

答弁 令和4年12月に一般競争入札による公売を行ったが応札者が無く、大幅に価格設定を下げ、令和6年2月に市有地活用公募型プロポーザルで実施し、応募者の中では、解体費用等が想定より高かったことで辞退し不調となった。今後については、建物が残っている状態からの活用や公売は困難であるため、建物を解体し、土地のみの公売を考えており、現在は、解体の為のアスベスト調査を実施中であり令和7年度に解体予定である。

質問 火除けの整備等について、委員会を設け、議論を行ったはずだが、現在どのような方向で進んでいるのか伺う。

答弁 火除け地復元検討委員会を、令和4年度から5年度にかけて6回開催し、全体の方針としては、部分的復元を行い、可能な範囲で復元整備を行うこととしている。具体的には、5ヶ所あったとされる土塁は、市道武家屋敷通り線の東側に1ヶ所、西側に1ヶ所復元する。水路は北側を全て復元し、南側は石積み

延長整備の部分復元を行う。門があったとされる位置は外町側であるが、市道への設置は現実的に困難であると結論づけた。スケジュールについては、歴史まちづくり計画を策定したうえで、有利な財源を確保しなければならなく、もう少し時間をかけて検討する必要がある、具体的に何年から始めることは、答えることはできない状況である。

質問 令和4年9月議会で質問した、角館駅東公園のトイレの洋式化について、前向きな答弁を頂いたが、一向に進まない。3年近く経つがどのように進んでいるのか伺う。

答弁 トイレの洋式化については、公園長寿命化計画に基づく国の支援事業や、子ども子育て支援事業などの有効な財源を活用出来ないか検討してきた。現時点では有効な財源を見つけられないが、洋式化の必要性は十分理解しており、令和7年度に予算計上するよう進めていきたいと考えている。

令和7年度当初予算について

質問 どのように編成するのか方針を伺う。

答弁 持続可能な財政運営を実現させるため、歳入歳出のバランスをとり、効果的・効率的な支出を徹底し、収納率向上・遊休資産の処分・ふる

さと納税確保・国県の補助金の活用など、得られるものは積極的に取り組んでいきたい。

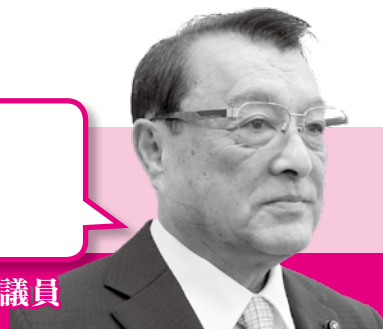


■建物を解体し土地のみの公売を検討している旧中町庁舎

その他の質問
市役所職員の職場環境について

HPVワクチン接種率と周知方法は

公明党 熊谷一夫 議員



市長

ハガキでの個別通知と市広報・公式LINEで周知を行なう

子宮頸がん撲滅に向けた仕組みづくりについて（HPVワクチン接種対応）

質問 令和7年3月31日まで1回以上接種している者については公費で3回接種出来るように、1年間延長となった事を踏まえて質問する。

一人でも多くの女性の命と健康を守る為に、令和6年度の高校1年生とキャッチアップ対象者のHPVワクチン接種率と今年度対象者への周知方法及び通知費用を伺う。

答弁 令和6年度高校1年生は89人中47人で52.8%、キャッチアップ対象者は、670人中256人が接種で38.2%の接種率である。

対象者には、5月にハガキで個別通知を行い、市広報8月号及び市公式LINEで通知を行なった。延長措置についても同様に周知していく。通知費用は、既に接種済みの方を除くと、4千円程度の見込みである。

質問 にかほ市では男性への接種費用を全額助成している。本市でも考えられないか。

答弁 女性への確実な接種を第一に、男性の接種は考えていない。国の動向を注視しながら対応していく。



春と秋の2回通知された宮崎市の個別通知

災害時に避難所となる小・中体育館へのエアコン設置を

質問 猛暑から子ども達の命を守る為、体育館のエアコン設置状況、学校再編計画にエアコン設置は入っているか。又、国の補助金事業は使えないか。

答弁（教育長）市内の小・中学校体育館にエアコン設置している学校はない。県内は3町村、設置率は1.7%である。

国の補助金2分の1と起債も使えるのは魅力的だが、空調と断熱性確保の為に工事が必要で、期間中体育館が使えなくなる。どんな形で可能か検討する。

「障がいのある方」への投票しやすい環境整備について

質問 ①障がいのある方への対応マニュアルを作成しているか。②対応についての説明会・研修を実施しているか。③コミュニケーションボードを用意しているか。④知的障がいのある方の為に「支援カード」等を用意しているか。⑤点字用投票用紙等思いやりの支援対応を行なっているか。⑥障害のある方への代理投票制度の周知方法は万全か。

答弁（選管事務局長）

- ①作成していない。来春の知事選から導入したい。
- ②障がいのある方には、万全を尽くすよう指示しているが、今後は説明会・研修を実施したい。
- ③用意していない。来春の知事選から導入したい。
- ④用意していない。導入を目指していきたい。
- ⑤点字に関するもの・拡大ルーペ・車いす用記載台等も設置している。幅広い選挙人への移動支援も準備し対策を講じている。
- ⑥代理投票制度に特化した情報は提供していなかった。制度の周知を鋭意工夫しながら万全を尽くしていきたい。

令和7年度予算編成にあたって 財源確保の目途は

荒木田 俊一 議員



市長

あらゆる手段で財源の確保に取り組んでいく

令和7年度予算編成にあたって財源確保の目途は

質問 毎年、財政調整基金の取り崩しやふるさと納税頼みで予算編成が行われている。財源の確保の目途は出来ているのか。

答弁 県内自治体の中で人口1人当たりの予算比率では断トツ1位で非常に予算が掛かる自治体と自覚している。

各事業評価の見直しや廃止で、事業費・事務量の削減、各収入金の収納率向上のほか、ふるさと納税の確保、遊休資産の処分など、あらゆる手段で財源の確保に取り組んでいく。

質問 もっと市有財産の整理や処分を進める必要はないのか。

このままでは資産価値がどんどん下がる。

答弁 メルカリを活用し小財産は処分しているが、遊休地や遊休施設については積極的に売却の検討を進める。公共施設等管理計画並びに個別計画を実行し、議会の場でいくらの収入があったと報告が出来るよう取り組んでいく。

産業祭は市の活力に結びついているのか

質問 開催にあたり目的が共有さ



■地域振興への貢献が望まれる産業祭

れ、内容がふさわしいものになっているのか。

答弁 各種産業に関する市民が一堂に会し、明日の産業振興と商工業の躍進に寄与するという目的を共有し取り組んでいる。コロナ禍で3年間のブランクや農業を取り巻く環境の変化もあり、各イベントの連携が希薄になり、変化すべき部分と変化せざるを得ない部分がある。

質問 地域振興に本当に役立っているのか。

答弁 2日間で約2500人の来場があった。売り上げも多く良かったとの声もあった。実行委員会での反省点を検証し、地域振興に一層貢献できるように努める。

選挙事務について

質問 国政選挙における事務ミスはどう捉えているのか。

答弁 (選挙事務局長) 民主主義の根幹である選挙制度を揺るがす行為であり、重大な事案である。あつてはならないことであり、携わる一人ひとりの職員に役割を徹底していく。

質問 投票立ち合人等の確保に苦労しているようだが報酬が低いのも原因ではないのか。

答弁 (選挙事務局長) 報償費は各自自治体で設定している所もあると思うが国の法律に即して設定している。

質問 選挙事務ミスや開票の遅れで行政事務の信頼性を損ねていないのか。

答弁 市民から信頼を損なった事案で大きな責任を感じている。

二度と起こらないよう取り組んでいく。

市の各施設の使用料について

質問 冷暖房費を徴収する必要性があるのか。徴収に係る人件費や郵送料など、経費のほうが多いのではないのか。

答弁 電気料金や燃料費の高騰で一定程度の負担はお願いしたい。運用全般について、コスト意識を持ち改善に取り組む必要があると認識している。

福祉灯油助成事業の早期実現を

高久昭二 議員



市長

速やかな対応への準備をしていく

福祉灯油助成事業の早期実施について

質問 厳しい冬の季節を迎え物価高騰の中、冬の生活を支えるためには是非とも福祉灯油助成を実施していただきたいが、今年はなぜ実施できないのか。

答弁 昨年まで国や県は家計負担軽減のための灯油購入費助成事業を実施しており、市も国や県の事業を活用し、福祉灯油助成事業を実施してきた。今年度も灯油需要が大幅に増加する厳冬期を迎え、一般の物価高騰原油価格高騰により、高齢世帯や低所得者世帯の家計に大きな影響を与えると予想される。

この状況を踏まえ国では、11月22日閣議決定した経済対策で、国の重点支援地方交付金の推奨事業メニューとして灯油支援を追加した。今後の国会で補正予算が成立した折には、速やかに福祉灯油助成事業に対応していく。けるよう準備していく。



■高騰する灯油の助成が待たれる福祉灯油助成事業

質問 市長は海外、国内出張がすでに昨年を上回る金額になっているが、随行員を減らすとかハイレベルのグレードの高いホテルではなく、ビジネスホテルにするなど、旅費を削減して福祉灯油助成を早い時期に実施できないか。

答弁 出張については自治体トップとしてのセールスであり、無駄な出張は一つもない。例えば国道46号、105号の要望活動では市長が要望を行うことでようやく形に繋がってきている事業や、海外のトップセールスにおいてもトップが動くことで

相手先の対応が大きく違ってくる。台湾からの教育旅行や誘客など、かかった費用よりも、もたらした効果の方が高いと考えている。議員指摘の高級ホテルに泊まっているという部分については、財政を立て直すために市長になったので高級ホテルに泊まったことはない。出張の支出については再度確認していただきたい。

旧角館総合病院の解体工事について

質問 1階から5階まで床面にアスベストが含有されており、解体費用が大幅に引き上げられたが、解体工事とアスベスト除去工事を分離発注して工事費を削減するべきではないか。

答弁 工事費削減については、落合運動公園の残土利用など、工事進捗過程においても削減が可能などところであれば積極的に削減に努めていく。

答弁 (総務部長) 分離発注については、逆に経費がかかり増しになることがあるため、一括の発注で行うこととした。

その他の質問

旧芦名家武器庫解体と武家屋敷伝建群の板塀修復について

算数セットを学校備品化へ

新成せんぼく 西宮三春 議員



教育長

家庭からの寄付等による備品化を前向きに検討する

算数セットの学校備品化について

質問 小学校入学時に保護者負担が大きく、全国的にも進級や卒業等で不要となった家庭からの寄付により学校備品化が進んでいるが見解を伺う。

答弁 (教育長) 小規模学校では、全て譲り受けた物で対応できており、今後保護者の意向を確認し、前向きに検討していく。



■ 桜木内小学校では学校備品となっている算数セット

仙北市第三期子ども・子育て支援事業計画について

質問 これまでの事業計画の成果と課題について伺う。

答弁 成果として中川保育園の0歳児利用定員を増加・すこやか子育て助成による所得制限なしの保育料全額助成の実現・米飯の無償提供・おむつ持ち帰り廃止を実現した。検討課題となっている計画は、病後児保育と延長保育があり、病児・病後児保育として検討を重ね開設に向けて準備を進めている。

質問 一時預かり事業の利用申請書に申請理由を具体的に記入する必要性について問う。

答弁 受け入れる園としては、育児支援につながる声かけ・関係機関と連携して子育て支援につながることもできるためだが、申請理由によって左右されることがないような形の記入方法に変えていきたい。

子育て短期支援事業
(※ショートステイ・※トワイライトステイ) について

質問 児童福祉法改正により事業拡大されたが、現状と委託できる方の

確保・適切に対応できる体制なのか伺う。

答弁 現在本市で委託できる方は2名。県では、里親養育包括支援、ホスティング事業を県内4つの児童養護施設と共同で展開しており、利用が促進される環境を整えていく。

質問 この事業の周知方法と支援につなげる必要な取り組みについて伺う。

答弁 広報やホームページ等による周知を図り、相談や申請を簡易にし、里親等による制度が利用できる場を増やしていけるよう、県や施設と連携し環境を整えていく。

用語解説

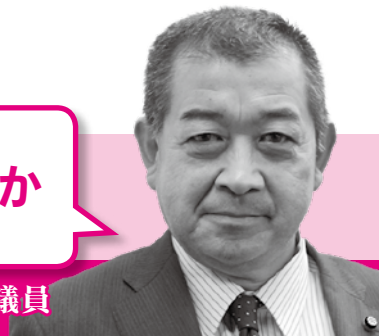
・ショートステイ：保護者の疾病・育児疲れ・仕事等の事由により子どもの養育が一時的に困難となった場合、育児不安や過干渉等により児童自身が一時的に保護者と離れることを希望する場合、児童養護施設等で子ども・保護者を預かる事業
・トワイライトステイ：保護者が仕事等で平日夜間や休日に子どもの養育が困難な場合、一時的に預かり食事提供等を行う事業

その他の質問

グローバル雇用・創業ワンストップセンターについて

観光ニーズの多様化に対する対応はどうか

蒼生会 眞崎 寿浩 議員



市長

アンケート内容等を共有し、 多様化するニーズに対応していく

仙北市の観光のあるべき姿とは

質問 観光ニーズの多様化に対しての対応はしっかりとできているのか。

答弁 根拠となる情報収集が必要であり、市民意識調査、さらには観光協会、農山村体験推進協議会でも独自のアンケートを実施し、内容を共有することで多様化するニーズに対応していく。

質問 秋田県の観光のけん引役として、仙北市の観光スポットをさらに充実させるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 ストーリー性をもって回遊できるようなモデルコースの構築などにより、市内全域への誘客や滞在時間の延長につながると考えている。河原田家や石黒家などの武家屋敷の対面案内や、農家民宿でのオーナーとの対話を通じて、観光地の魅力がさらに深く直接伝わる取り組みを行っており、今後も既存の観光施設の磨き上げによる高付加価値化とあらゆる手法を通じた情報発信の強化に努めたい。

質問 アフターコロナの対応について、東北の他の県と比べて秋田県の伸び率は低いと感じているが、市としての交流人口の増加を目指した誘

客について、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 桜の早期開花に加え、夏の豪雨や猛暑、クマの出没多発などが影響し、全県的にコロナ禍前の入込数にはならなかった状況にある。

誘客対策は、点ではなく面での取り組みが重要で、既存の広域連携の枠組みを活用しながら東北全体での底上げを図り、その中で仙北市の交流人口も増やせる取り組みを推進していく。

質問 市民に対して「おもてなしの心」を醸成させるには観光スポットと住民がさらに連携を密にして取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 現状に即した方向性を検討する仙北市観光振興計画推進協議会を立上げ、*KGIやKPIの見直しを行いながら、市民と市の観光に対する議論を行っている。今後も地域の皆様との連携を継続しながら、良い観光地となるように努めていく。

抱返り溪谷について

質問 遊歩道の全線開通について、県に対して働きかけているか。

また、溪谷全体の魅力アップさせるための演出（放流量の調整やライトアップ等）を充実させてはどうか。

答弁 県には平成22年度から働きか

けている。当時の試算で全線開通には、約15億円の事業費となることから進んでいないが、今後も引き続き、全線開通を要望していきたい。

溪谷の放流やライトアップについては、安全面や電力確保など、紅葉祭実行委員会を通じて東北電力と慎重な検討が必要と考えている。



■県内で最も古いつり橋をPRし魅力アップに繋げたい神の岩橋

用語
解説

・KGIとKPI…KGIが経営戦略の最終目標であるのに対しKPIはKGIを達成するための短期的な中間目標

総務文教常任委員会

旧角館総合病院解体工事請負契約議案可決

11月定例会の総務文教常任委員会では、コミュニティセンター条例の一部改正や生保内財産区特別会計補正予算、令和6年度一般会計補正予算などが審査されました。又、最終日追加議案第128号、旧角館総合病院解体工事請負契約が可決され、いよいよ解体が始まります。(契約金額 7億9,475万円)

令和6年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

一般教育振興総務費	1,344万円	令和7年度に中学校教員が使用する教科書と指導書を購入する費用
中学校部活動指導員配置事業費	8万円	前年度冬季実績を踏まえ不足分の補正
市民会館舞台運営費	101万円	イベントの増加による補正
ふるさと交流事業費	△10万円	出張旅費(実績での減額)
生活路線代替バス運行費	58万円	上半期の予想を上回る実績の為、下半期不足分の補正

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆一般教育振興総務費について

質問 教員用のデジタル書籍購入費とのことだがイメージとしてはどのようなものなのか。

答弁 前の教科書と大きく違うのは、教科書の中にQRコードが入っていてそれを読み取ると動画が流れたり、より詳しい説明が出てきたりして、紙媒体では見られないデータがたくさん入っている。

◆ふるさと交流事業費について

質問 実績での減額とのことだが、内容について詳しく伺う。

答弁 11月9日に東京角館会が開催され、市長のみの出席となり職員の出席がなかったため職員の旅費が減額となった。

◆仙北市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について

(令和7年3月31日で閉校となる白岩小学校を4月1日から白岩コミュニティセンターとして設置し、白岩地域住民をはじめ広く市民及び市内外のコミュニティ活動の拠点施設として利活用するための改正である)

質問 施設の清掃と管理については地域の方が対応するのか、市が対応するのか。

答弁 維持管理については角館市民センターと地域の方々と両方で行うと想定している。夜間の鍵の開閉は白岩地域の方が対応し、平日は角館市民センターの職員が随時確認し清掃等を対応する。



■1階をコミュニティセンター、2階をインターナショナルスクールで活用予定の白岩小学校

報告事項(まちづくり課) 秋田内陸縦貫鉄道の鉄道事業再構築実施計画について

令和6年11月29日付で秋田県知事、北秋田市長、仙北市長、秋田内陸縦貫鉄道(株)代表取締役社長の4者連名で鉄道事業再構築実施計画認定申請書を国土交通省東北整備局長へ提出。令和7年1月計画の認定予定・2月～3月協定締結(4者)・令和7年4月1日から鉄道事業再構築計画が開始される。これは令和17年3月31日までの10年間の事業である

(門脇 晃幸 記)

市民福祉常任委員会

後期高齢者医療短期人間ドッグ助成費・安心子育て応援事業費 利用者増加により増額補正

11月定例会の市民福祉常任委員会では、令和6年度一般会計補正予算、仙北市国民年金保険特別会計補正予算、仙北市介護保険特別会計補正予算、仙北市病院事業会計補正予算等について審査されました。

令和6年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

障害者自立支援給付費	5,852万円	介護職員の処遇改善による増額分と障がいをお持ちの方のサービス費用の増額分
後期高齢者医療短期人間ドッグ助成費	10万円	助成対象者が当初見込みより増加したため増額
児童館及び児童遊園地施設維持管理費	50万円	武蔵野児童館へのエアコン設置費用
医療的ケア児保育支援事業費	165万円	(福)はなさき仙北への支援費
生活保護費	3,271万円	生活保護受給者の医療費増額分
安心子育て応援事業費	30万円	産後ケアの利用者が当初見込みより増加したため増額

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆障害者自立支援給付費について

質問 増額補正の金額が大きいですが、今年度は何か特別な要因があったのか。

答弁 当初予算作成後に介護職員の処遇改善により加算点数が上がったこと、サービスを利用している障がい者の方が、年度途中で障がいのランクが大幅に上がり、毎月の費用も増額になったことが要因である。

◆後期高齢者医療短期人間ドッグ助成費について

質問 当初予算で利用者を50人と想定し、実績から利用者が上回る見込みであり5人分の追加補正とのことだが、健康に直結する事業であり、もっと余裕を持った補正額にするべきではないか。

答弁 もっと利用者数を多く見込むべきかと考えたが、過去の利用者数で一番多かったのが、令和4年度の51人であったことから、55人を想定し補正予算を計上した。

◆医療的ケア児保育支援事業費について

質問 (福)はなさき仙北への支援不足分との説明であったが、支援が不足した理由を伺う。

答弁 支援内容の主なもの保育士、看護師等の人件費と消耗品である。当初予算で見込んでいた医療的ケア児保育支援に携わる職員数と、実際に4月になってから配置された職員数に差異があり、人件費に不足が生じたことによる補正である。

◆生活保護費について

質問 増額補正の金額が大きいですが、生活保護者が増えたのか、それとも生活保護者の医療費が増えたのか。

答弁 生活保護世帯数は年々減少しており、10月末現在で255世帯である。今まで生活保護を受けていない方が入院され、医療費が支払えないという状況から生活保護に至るケースもある。生活保護受給者は健康保険証が無いので、10割負担になってしまい、生活保護の医療費として市が負担する。今回の補正額は、ほぼ医療費であり、生活保護世帯数が減少しているから、医療費も減少するという状況にはない。

令和6年度 仙北市介護保険特別会計補正予算の質疑から

◆にしき園の一般会計からの繰入金減額について

質問 にしき園の入所率等はどのようになっているのか。今回の補正では、一般会計からの繰入金が減額となっているが大丈夫なのか。

答弁 11月末現在の入所率は94.75%となっている。繰入金減額の主な要因は介護報酬の改定に伴う増額である。8月から住居費の金額が全国一律で上がったことで、全体のサービス収入が増えたことが大きい。

(小田島 広仁 記)

産業建設常任委員会

目標金額を上回る寄付をいただいたリトリート推進事業

11月定例会の産業建設常任委員会では、仙北市駐車場条例の一部改正、仙北市旧石黒（恵）家条例の一部改正、令和6年度仙北市温泉事業会計補正予算（第1号）、令和6年度仙北市水道事業会計補正予算（第3号）、令和6年度仙北市下水道事業会計補正予算（第1号）及び令和6年度仙北市一般会計補正予算（第9号）などが審査されました。

令和6年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金	118万円	補助対象者1人増による不足分の計上
花葉館施設整備事業費	113万円	業務用食器洗浄機購入に伴う工事費からの予算振替
農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金（令和6年大雨）水産	107万円	大雨災害による事業者への事業継続に係る補助金
リトリート推進事業費	96万円	リトリート推進モニターツアー事業に係る補助金増額分
農業用施設災害復旧事業費	215万円	大雨災害による事業者への事業継続に係る補助金

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆花葉館施設整備費について

質問 当初予算に組み込めなかった理由は。

答弁 7月下旬頃、花葉館から食器洗浄機に不具合が発生し、早期に改修しなければ営業に支障をきたすとの連絡があり予算振替で対応した。

◆リトリート推進事業費について

質問 具体的な受け入れの拡充内容と、この事業がもたらす効果は。

答弁 拡充としては、滞在費・農泊体験のほか、機材の借り上げ料等の経費や、創作活動後の完成披露に係る経費となる。効果については、市外アーティストの方々が滞在し、SNS等での発信の効果を期待しており、関係人口にも大きな期待が見込める。

◆仙北市駐車場条例の一部を改正する条例制定について

質問 料金改定は関係する外部団体との調整が必要ではなかったか、また、借上料に変更はないのか。

答弁 市営の駐車場であり、少しでも歳入を増やしたいことから内部調整とした。借上料については、今年度固定資産税の見直しによる相応分は上乘せしたが、基本的な金額の変更は生じていない。

◆仙北市旧石黒（恵）家条例の一部を改正する条例制定について

質問 喫煙や飲食禁止の注意看板をなぜ外したのか。また、飲食禁止であれば事業に影響がないか。

答弁 喫煙に関しては、伝建地区の路上喫煙禁止関係の条例がある。飲食は条例上は禁止していないが、単なる飲食の利用は許可していない。

質問 休館日を増やすとのことだが、周知の時間は十分か。

答弁 4月からの施行であり、2月定例会では周知期間が短いため、本定例会でお願いするものである。



■来年度から休館日が増える旧石黒（恵）家

（武藤 義彦 記）

仙北市議会議員活動紹介



■使った水をまた使える水に戻す再生循環システム



■新たな給水設備を視察した産業建設常任委員会のメンバー

産業建設 常任委員会

未来の給水設備を視察

この度、秋田県で水道管路等の設備投資が高額となり得る過疎地域等において、新たな技術導入の可能性調査を行うこととなりました。「小規模分散型給水設備導入可能性調査事業」により、寒冷地での冬期実証実験として、西木町で令和6年10月から令和7年3月までの期間2軒の住宅で行われる予定です。

「小規模分散型水循環システム」とは、水処理の自律制御技術により、使った水をその場で処理し、また使える水に戻す再生循環の仕組みで、寒冷地オペレーションの適正化には大きな期待を寄せています。

仙北市では、人口減少・過疎化が進むなかで、多くの水道管路設備が耐用年数を超えて老朽化しており、管路更新が急務となっています。今後の更新コストの増大が大きな問題となっていますが、持続可能な水インフラを実現するための代替可能性を検討するため視察させていただきました。

(西宮三春記)

蒼生会

福井県大野市へ行政視察

視察の目的

仙北市は、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを推進するために、令和7年度中に「立地適正化計画」を策定する予定です。

福井県大野市は、総面積872.43km²、人口3万人、財政規模も類似した自治体であり、北陸の小京都とも言われています。大野市は、平成30年に都市再生特別措置法に基づき「大野市立地適正化計画」を公表し、この計画の運用を始めていることから、先進地である大野市の取り組み状況と課題等について視察させていただきました。

立地適正化計画とは

人口減少や超高齢化社会化においても、持続可能な「コンパクトなまちづくり」に具体的に取り組む計画です。

全ての市民が公共交通で医療・福祉・商業施設等に行けるように住居等がある程度まとめた立地するまちづくりです。

視察内容と感想

◆立地適正化計画の区域（どの範囲にまとめるか）

◆立地の適正化に関する基本的な方針（理解を図る）

◆都市機能誘導区域（病院、商業施設等の配置場所）



■大野市職員の説明後に談笑する蒼生会の面々

(高橋輝彦記)

◆居住誘導区域（住居等の配置場所）
◆誘導施設（福祉施設、学校等の配置場所）
※多くの自治体で市街地の拡散が進み、今後の急激な人口減少により、一定の人口密度に支えられてきた生活サービスの提供が困難になり、道路や公共施設等の老朽化も著しく、厳しい財政制約の状況を打破するために、住居をコンパクトにまとめ、医療、学校、福祉、商業施設等に簡単に行ける『コンパクト・プラス・ネットワーク』のまちづくりを目指したものであるが、仙北市民の土地に対する愛着の強さを考えると、効率的な運用だけでは、市民の理解は得られないことから、大胆なアレンジが必要と感じました。

市民参加の表紙の写真第2弾です！

市民提供の表紙の写真第2弾は、県展の入選常連者で特賞や奨励賞も複数回受賞している西木町西荒井の水戸谷 彰さんです。

写真愛好家の方々から噂を聞いて、今回の表紙の写真をお願いしたところ、「どうも私の写真は万人受けしないんだよなあ。」とのこと。ポスター掲載等で、自分がいいと思ったもの以外の写真が選考されるのだそうです。

県展には主に人物系の写真を出展しているそうですが、今回は凍てつく寒さの厳冬の中で青空を待っての「友情の滝」と滝を取り巻く雑木たちを激写しております。

何か、こう「ゾクッ！」っとしたものを感じませんか？！

秋田県地方自治功労者表彰受賞

10月31日、県庁で開催されました秋田県地方自治功労者表彰式で、自治功労により黒沢龍己議長と荒木田俊一議員が表彰されました。

この受章は、長年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。

これまでのご苦労に感謝し、心からお祝いを申し上げますと共に今後まだまだ仙北市議会をリードしていただきますと思います。



今なお万年青年のお二人です！！

お知らせ

おでかけ市議会

仙北市議会では、市民の皆さまと議員との意見交換会「おでかけ市議会」を募集しております。

議会から皆さまに意見交換会をお願いする場合がございますが、市民の皆さまがお申し込みを行う場合は、以下の要領をご確認のうえ、議会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

- (1)対象…市内在住又は在勤の方々と構成する 10 人以上のグループとさせていただきます。
- (2)開催場所…ご希望の場所で開催いたします。
- (3)テーマ選定…意見交換するテーマを決めていただきます。(例：やりたいこと、人口減少、まちづくり、財政、農林業振興、観光、企業誘致、病院、教育、クマ・イノシシ対策、環境、福祉関係、議会など)
- (4)参加議員…選定されたテーマにより所管する委員会の議員がおでかけして参加します。

●お申込み先…仙北市議会事務局
TEL0187-43-0334

みなさまの応募をお待ちしてます！



編集後記

市政の様子を議会側の視点から、市民の皆様へ伝えたい思いで編集に取り組んでいます。事の流れをより分かりやすく、と文意に注意を払っているつもりですが、表現が事実と違うように捉えてしまうなどの意見を伺い、編集に細心の注意をより一層払いたいと思います。

念願の旧角館病院の解体工事が始まりました。合併特例債を利用して経費捻出のため、旧角館病院管理棟を上野庁舎とする改修事業も予定されています。完成後は、田沢湖庁舎に45人の職員が残り、上野庁舎に配置される職員は99人ですが、市議会だより75号では、令和8年2月に45人も移ると捉えられる内容になっていると指摘をいただきました。感謝します。

新しい事業に向かって、当局から議員全員協議会開催の要請があり説明をいただきますが、経過報告が主で深まりのある議論には至りません。内容について翌日の新聞報道で、市民の皆さんには、決定事項として伝わることも多々あります。インターナショナルスクール誘致・今後の西宮家運営などに関心を寄せる市民の声も反映されるよう、議会は一役を担う場でありたい。皆様の声をお聞かせください。

(平岡 裕子委員長 記)